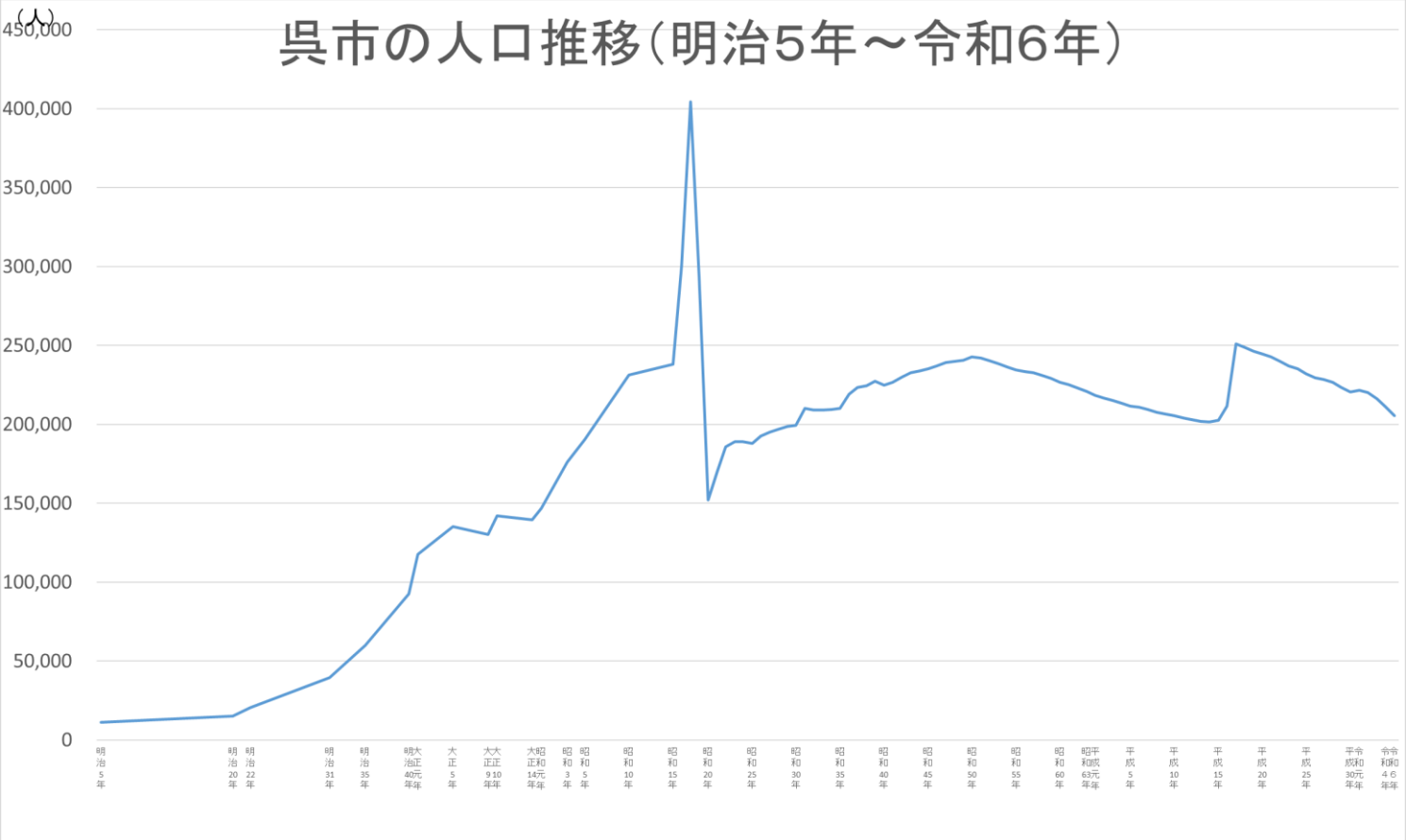
「歴史とものづくりのまち」呉の主なあゆみ

時代・年月	主なできごと
古墳時代（４世紀頃）	（蒲刈）蒲刈町大浦で土器を用いて製塩開始（沖浦遺跡（現県民の浜））
推古26(618)年~宝亀9(778)年	（倉橋）安芸国で遣唐使船建造（「日本書紀」「続日本書紀」）
仁安年中(1166~1169)	（安浦）西行法師が厳島神社へ参詣途中に高富浦に風待ちで寄港
仁安2（1167）年2月	（音戸）平清盛，厳島神社参詣
江戸時代初期	（下蒲刈）三ノ瀬に本陣・番所・茶屋が整備され，西国大名・朝鮮通信使・琉球使節などが寄港
寛文６（１６６６）年	（豊）御手洗で屋敷地町割りの許可を得て，町場が形成される
元禄６（１６９３）年	（豊浜）豊島の漁師徳右衛門らが尾久比二窓の鳥付網代（アビ漁場）発見
安政６（１８５９）年	（川尻）上野八重吉が出雲・熊野から筆職人を雇い，川尻筆の製造開始
明治２２年　７月	呉鎮守府開庁
明治３５年１０月	**和庄町，荘山田村，宮原村，二川町を合併して呉町となり同時に市制を施行　人口 57,169 人**
明治３６年１１月	造兵・造船の２廠を合わせて呉海軍工廠となる
明治３６年１２月	呉線（呉～海田市）鉄道開通
明治４２年１０月	市内電車（西本通～本通９丁目）開通　日本で６番目（呉電気鉄道（株））
大正　７年　４月	海軍上水道分水工事完成　一般給水を開始
昭和　３年　４月	**吉浦町，警固屋町，阿賀町を呉市に合併　人口 169,095 人**
昭和　３年１２月	松本 清 作詞，藤井 清水 作曲の「呉市歌」を正式に市歌として告示
昭和１０年１１月	三呉線（呉～糸崎）開通
昭和１５年　８月	世界最大の戦艦「大和」進水
昭和１６年　４月	**賀茂郡広村，仁方町を呉市に合併　人口 259,584 人**
昭和１８年	人口 404,257 人となり過去最高となる
昭和２０年　７月	呉空襲（第３回空襲）　市内中央部壊滅　死者 1,817 人，被災家屋 22,168 戸
昭和２０年　９月	枕崎台風　死者 1,154 人
昭和２０年１１月	戦後初の人口調査実施　人口 152,184 人
昭和２５年　６月	旧軍港市転換法公布施行
昭和２６年　８月	旧呉工廠をＮＢＣ呉造船部として開所
昭和３１年１０月	**天応町，昭和村，郷原村を呉市に合併　人口 209,987 人**
昭和４２年　７月	昭和４２年７月豪雨　死者 88 人　負傷者 467 人
昭和４２年１２月	市内電車廃止
昭和４７年１０月	呉市民憲章及び呉市民の花「つばき」呉市民の木「かし」と決定
平成１１年　６月	梅雨前線集中豪雨　死者 ８人　２時間雨量 136 ㎜
平成１２年１１月	特例市指定
平成１３年　３月	芸予地震発生　震度５強　死者 １人
平成１４年１０月	呉市制１００周年記念式典開催　人口 203,034 人
平成１５年　４月	**安芸郡下蒲刈町と合併　人口 206,220 人**
平成１６年　４月	**豊田郡川尻町と合併　人口 213,549 人**
平成１７年　３月	**安芸郡音戸町，倉橋町，蒲刈町，豊田郡安浦町，豊浜町，豊町と合併　人口 259,224 人**
平成２８年　４月	中核市指定　人口 232,393 人　呉市を含む旧軍港四市が「日本遺産」に認定
平成２９年　２月	呉市公式キャラクター「呉氏」誕生
平成２９年１０月	朝鮮通信使関連資料がユネスコ「世界の記憶」に登録
平成３０年　５月	「北前船寄港地・船主集落」が「日本遺産」に認定
平成３０年　７月	平成３０年７月豪雨災害　死者 30 人（災害関連死を含む）　負傷者 22 人
平成３１年（令和元年）	呉鎮守府開庁１３０周年

令和　２年　３月	新型コロナウイルス感染症拡大のため，呉市内の小・中・高等学校で一斉臨時休校
令和　２年　４月	呉市での新型コロナウイルス感染症患者の発生
令和　２年　６月	亀ヶ首発射場跡が日本遺産の構成文化財として追加認定
令和　４年　３月	人口 211,359 人（令和４年３月末現在）
令和　４年１０月	呉市制１２０周年記念日式典開催　人口 210,070 人
令和　５年　４月	呉市で初となる義務教育学校　呉市立天応学園を開校
令和　５年　５月	新型コロナウイルス感染症　２類感染症から５類感染症に移行
令和　６年　１月	人口 205,349 人（令和６年１月末現在）